

e発明塾

ガイドブック



『ダントツ』知財力と発明力で
圧倒的な成果を生み出す

各講座の詳細は、「e発明塾」で検索、
または、右のQRコードから、e発明塾紹介サイトへアクセスし
ご確認ください。

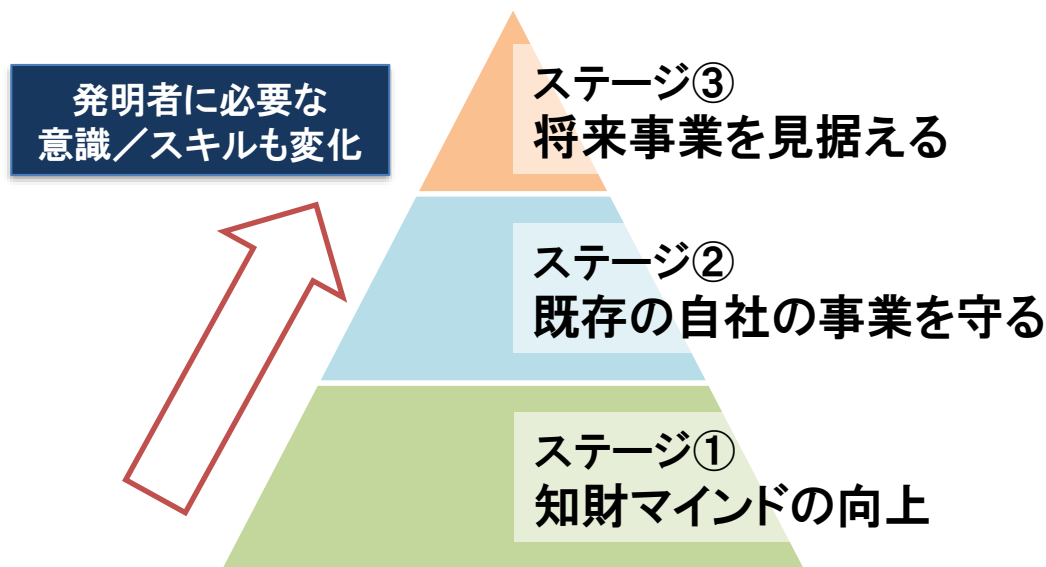


-目次-

- 【1】 「知財活動」は「発明者」から始まる
～目指す「知財活動」のために、発明者に何が必要か～
- 【2】 継続的・計画的・戦略的に「発明者を育成」
～各段階の「課題」をひとつひとつ解決する～
- 【3】 身につけてほしいスキル・知識と「推奨講座」一覧
～必要とされるアウトプット、対応するスキル・知識から講座を探す～
- 【4】 「継続できない」「定着しない」理由は？
～「インプット」だけでも「アウトプット」だけでもダメ～
- 【5】 「学習」を「アウトプット」につなぐ教材とプログラム
～さらに「事例研究」を併用、「反転学習」でスキルの定着を～
- 【6】 e発明塾で「アウトプット」を創出
～新規研究・開発テーマ創出や「先読み出願」に活用～

【1】「知財活動」は「発明者」から始まる

～目指す「知財活動」のために、発明者に何が必要か～



知財活動を3段階に分けると？

ステージ① 「知財マインド向上の段階」

侵害リスクの低減

- ✓ パテントクリアランスについて、開発担当者の意識・知識が十分でない。
- ✓ 回覧している特許公報(SDI)を、しっかり読み内容を確認してほしい。

発明提案の活発化

- ✓ 出願件数が少ない。もっと発明提案をしてほしい。

ステージ② 「既存の自社事業を守る段階」

権利化の促進

- ✓ 新しく開発した技術や製品に関する発明を、拾いきれていない。
- ✓ 先行技術を調査し、「権利になるポイント」が明確な発明提案書を作成してほしい。

他社を意識した出願

- ✓ 他社を排除できる「強い特許」になるよう、発明を強化・展開し、提案してほしい。
- ✓ 他社の出願動向を分析し、対抗できる質と量の発明を出してほしい。

ステージ③ 「将来の事業を見据える段階」

将来の収益源になる事業アイデア

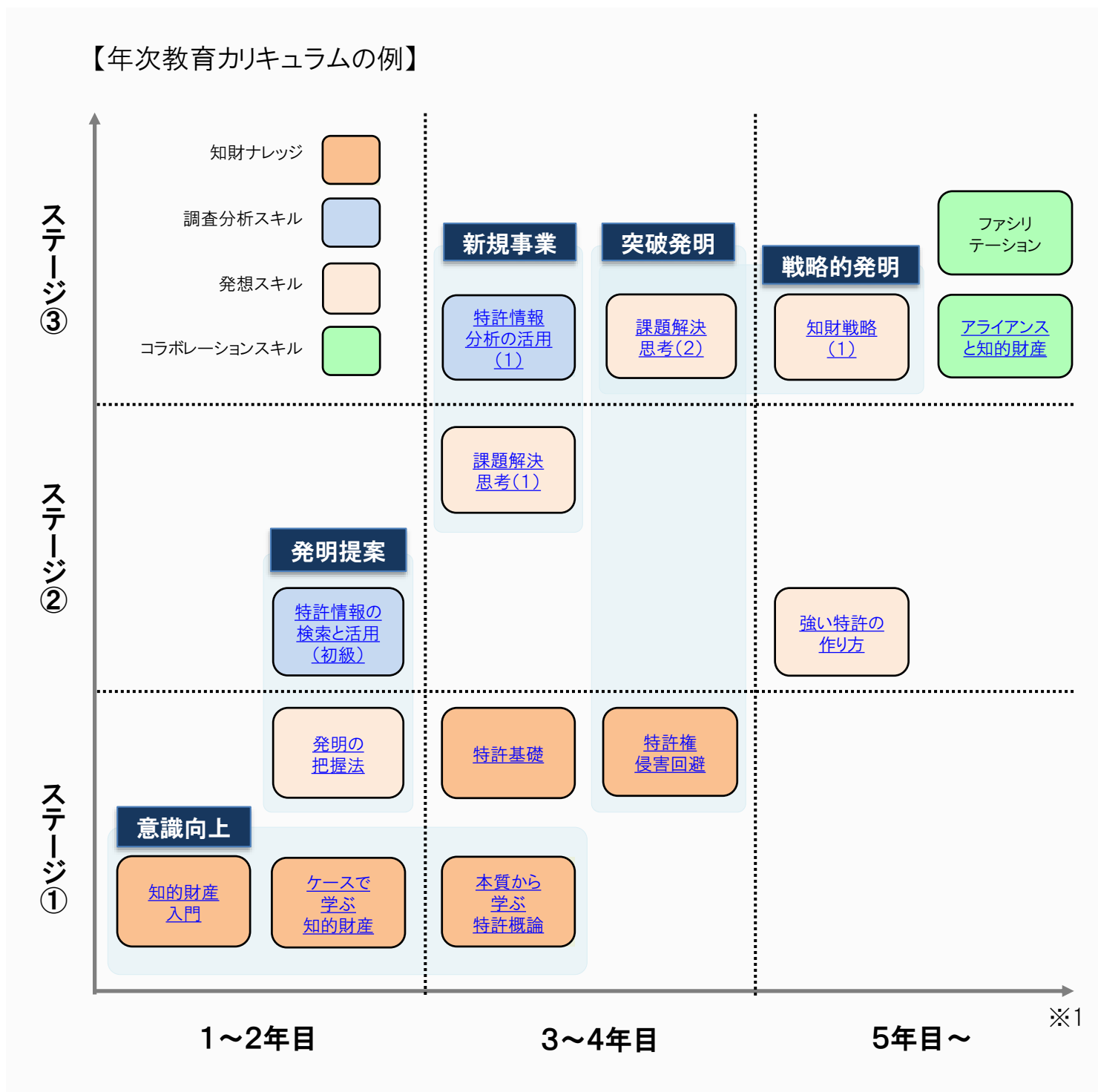
- ✓ 特許情報分析を活用し、将来の事業の種になる発明を創出してほしい。
- ✓ 開発段階から、事業で将来必要になる特許群の創出に取り組んでほしい。

将来に備えた「武器」になる知財

- ✓ 他社特許群の技術思想を進化させ、突破する発明を生み出してほしい。
- ✓ 攻めと守りの知財戦略を意識した発明を出してほしい。

【2】 継続的・計画的・戦略的に「発明者を育成」

～各段階の「課題」をひとつひとつ解決する～



※1 受講対象年次(入社後年次)は、あくまでも一例です。

各講座の詳細は、「[e発明塾](#)」で検索、
または、右のQRコードから、e発明塾紹介サイトへアクセスし
ご確認ください。



【3】 身につけてほしいスキル・知識と「推奨講座」一覧

【目的別カリキュラムの例】

※ 開発中の講座

	対象者	求められるアウトプット	対応するスキル・知識と 該当する講座
ステージ③	✓リーダー層 ✓例えば、 入社後5年目以降での 受講を推奨	✓討議を主催・支援し、 複数の参加者から アイデア 引き出すことができる。	> ファシリテーションスキル 『 ダントツ発明力事例研究 』 による演習プログラム
		✓共同研究などの際、知財の取り扱いや 契約について、 適切に対応 できる。	> 契約知識 『 アライアンスと知的財産 』
		✓業界や競合他社の動向を分析し、 権利化すべき発明 を創出できる。	> 攻めと守りの知財戦略 『 知財戦略(1) 』 > 先読みの発想法 『 課題解決思考(2) 』
		✓事業の障害になる特許について、 その 技術思想を見抜き、進化させ 、 突破する発明を創出できる。	> 他社特許突破発明 『 課題解決思考(2) 』 > 侵害判断・回避スキル 『 特許権侵害回避 』
ステージ②	✓出願件数上位の 研究開発者 ✓例えば、 入社後3～4年目での 受講を推奨	✓外国特許制度・ファミリー特許の知識を もとに、他社の 外国出願を調査 できる。 また、出願すべき国が想定できる。	> 外国特許制度の知識 『 外国出願戦略 』※
		✓自身の発明を、事業に役立つ 「 強い特許 」になるよう、強化できる。	> 発明を「強い特許」へ発展 『 強い特許の作り方 』
		✓自社の コア技術 が強みが生かせる 新たな顧客ニーズを発掘し、 新規事業創出 に貢献する。	> ニーズ発掘発想法 『 課題解決思考(1) 』 > ニーズ発掘のための分析 『 特許情報分析の活用(1) 』
ステージ①	✓自身の発明について、 数件の出願経験がある 研究開発者 ✓例えば、 入社後1～2年目での 受講を推奨	✓知的財産について 基本的な用語 や 制度を理解し、 回覧される特許公報 (SDI)を読みこなすことができる。	> 特許の基礎と公報の読み方 『 本質から学ぶ特許概論 』 > 知的財産に関する知識 『 知的財産入門 』 > 知財リスクへの対処 『 ケースで学ぶ知的財産 』
		✓どのような製品や行為が 特許権侵害 に あたるか、 基礎的な判断 ができる。	> 侵害判断・回避スキル 『 特許権侵害回避 』
		✓実験結果から発明の本質を把握し、 権利になるポイントが明確 に記載された 発明提案書 を作成できる。	> 発明把握スキル 『 発明の把握法 』 > 検索スキル 『 特許情報の検索と活用 』